

ドロミテ〔イタリア〕山行報告書

2018年（平成30年）7月6日・7日

マルモラーダ（Punta Penia）〔3,342m〕登頂

7月6日

コルチナダンペッツォからカナツェイに移動、アパートメントに荷物をデポして、フェダイア湖畔に移動。

フェダイア湖畔リフトの傍に車を駐車。昨日から天候が思わしくなく小雨の中二人乗り立乗りリフトで、カッパを着てピアン・デイ・フィアッコ小屋を目指した。

小雨の降る中、立乗りリフトでは高度が上がるにつれ風も吹き出し、だんだん気温が下がり、思わぬ我慢を強いられてしまった。

リフトの到着地点に隣接しているピアン・デイ・フィアッコ小屋に到着するころには、体が冷えきってしまった。



先行の吉村さんと中原さん
立乗りリフトに傘をさして乗車

リフトの到着地点に隣接する
ピアン・デイ・フィアッコ小屋



小屋で確認すると、明日には天候が回復するらしくマルモラーダ山頂を指すこととし、ゆっくりと小屋でくつろいだ。



小屋のフロア



やっと小屋に入り落ち着いたところで乾杯



夕食時に使用した
ランチョンマット



前菜



主菜



皿に盛っていただく

夕食は、コースで料理が出てくる。
前菜を取りすぎると後半の主菜が入らなくなってしまう。

7月7日

曇りの天候だがコンディションはまずまず。朝食を取り先行パーティーを追って我々も出発。

事前に登山ルートを確認していたので、大丈夫とは思っていたが、先行パーティーが目の前に確認できると思わず追ってしまう。

しかし今回のルートは一般ルートであるためか、よく注意してみると要所要所に目印が確認できた。

青空が広がればもっとよかっただろうが、印象的なサッソルンゴの岩峰につい目が行ってしまう。

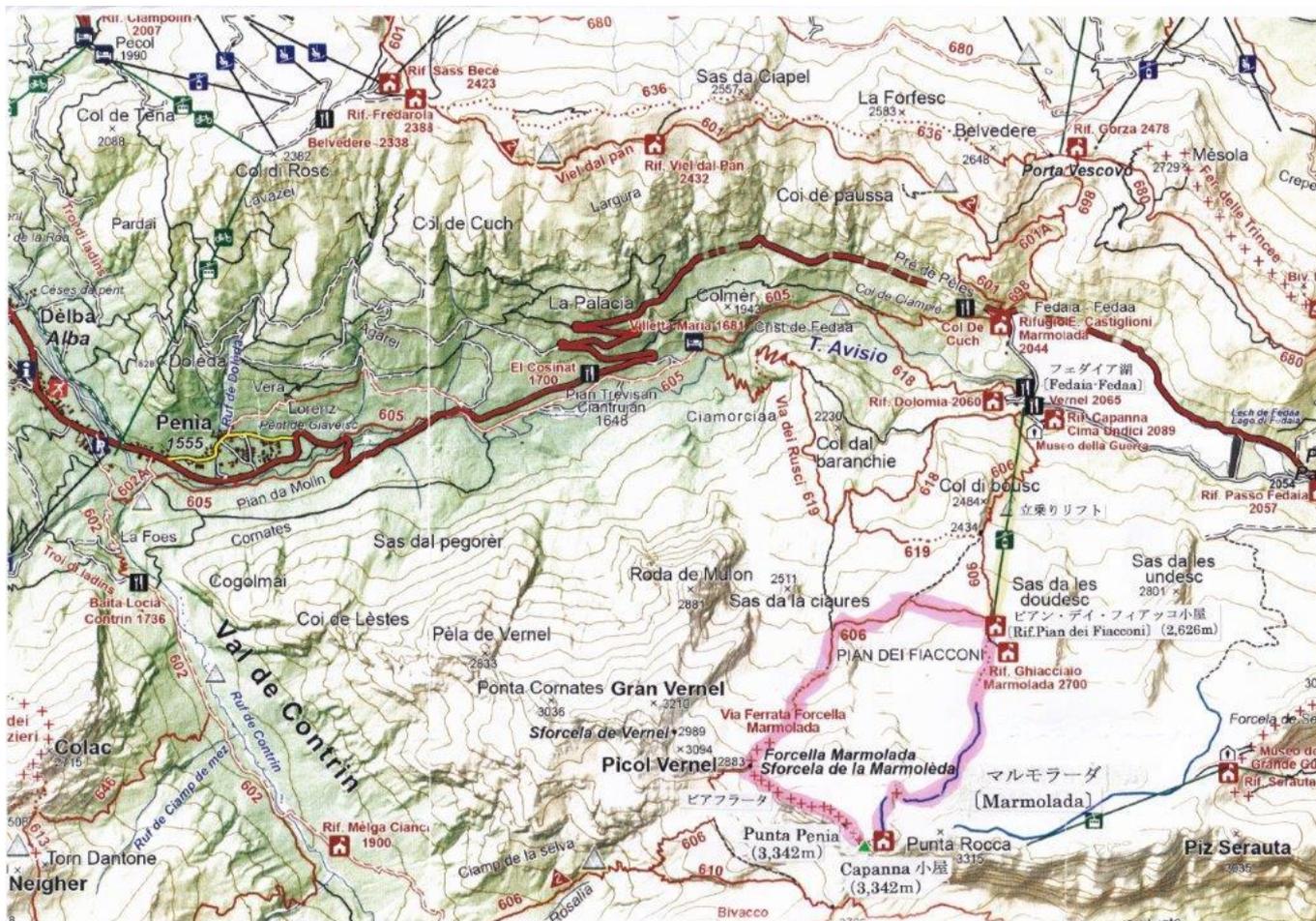
今回夏季のマルモラーダは、天候もまずまずで登山者も多く、ある程度ルートが確認できたこともあり、快適に登ることができた。



出発直後、先行パーティーと前方にサッソルンゴを望む

オイデンツアーの澤山さんの推薦トレッキングコース〔601〕は、写真で確認できるサッソルンゴとマルモラーダの間にある尾根の向こう側のボルドイ峠から出発し、マルモラーダを望みながら約2時間30分の行程でフェダイア湖畔まで下るコースであった。

ここから望む眺望から良いコースであろうということが推測されるが、前日は天候に恵まれず結局断念した。



マルモラーダ周辺地図（観光地図を一部加工）ピンクが移動区間

先行の登山者

ヴィア・フェラータ取付き



取付きに向かう先行パーティー（左上にも山頂を目指す人影が確認できる）



雪渓を登る先行パーティー 時折青空が見られ快適に進む



ヴィア・フェラータの取付き手前にて



ヴィア・フェラータ取付き
アイゼンを脱着して岩に望む



ワイヤーにランヤードを
架け替えながら登る



後続の二人も
快適に登る



急登部分は
階段がある



傾斜のある所は、
杭が打ってある



上部の岩稜は、ずっとワイ
ヤーが張ってあり安全に登
れるようになっている



そろそろ疲れてきています



マルモラーダ (Punta Penia) 山頂 [3,342m]



山頂小屋 (Capanna小屋) [3,342m]



山頂にて遊び心で記念に一枚



山頂直下 下山風景

山頂まで 1名やや疲れぎみであったが、約4時間30分で到着。
曇りで周りの風景は見えなかったものの、ほとんど風もなくまずまずのコンディションであった。



数十メートル簡単な岩稜を降る



雪渓でサッソルンゴをバックに



ピアン・デイ・フィアッコ小屋に到着



ピアン・デイ・フィアッコ小屋にて



下山直後、小屋の前で恒例の一杯



立乗りリフトからサッソルンゴを望む〔望遠〕手前 Col dal baranchie 付近の稜線



立乗りリフトで下山



リフト乗り場付近

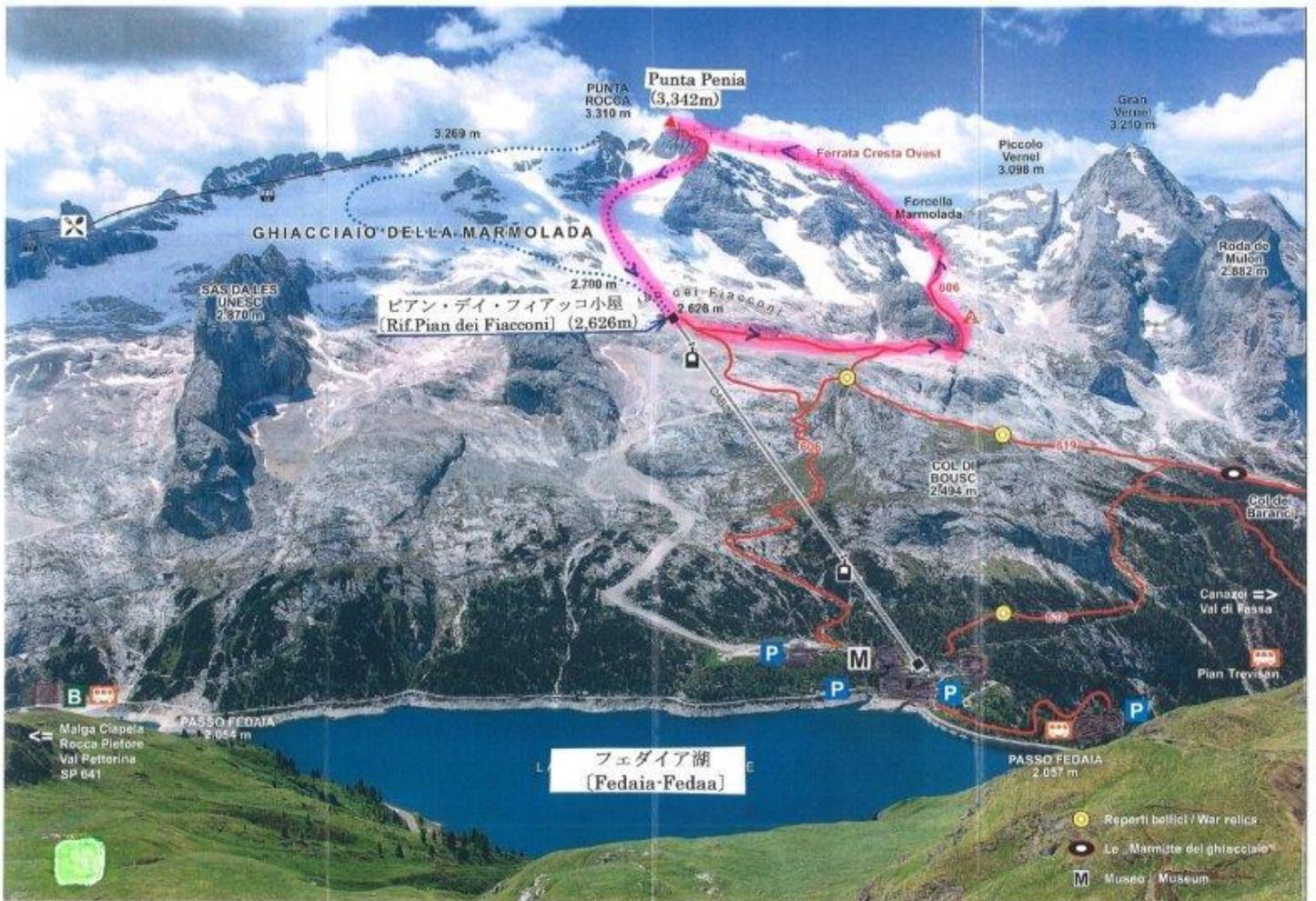


マルモラーダ



カナツェイに帰る途中マルモラーダを望める場所で記念写真

〈 あの山を登りました! 〉



マルモラーダの概念図 パンフレットを加工

行程上、6日のピアン・デイ・フィアッコ小屋予約を変更できなかったため、天候が悪かった場合でも宿泊し状況を見てマルモラーダを目指す予定であったが、たまたま7日は天候が回復し、運よくマルモラーダの山頂を踏むことができ大変ラッキーであった。

マルモラーダ周辺地図での〔601〕コースで、マルモラーダを目の前にしながらのトレッキングコース（おそらくこのページのマルモラーダの概念図の風景）を楽しむことができなかったことは残念だった。

やはり天候がある程度安定しないと、せっかくの山行も成立しないため、日程に余裕があればよいのだが、海外の山行はそうもいかず、いつも出たところ勝負である。

No.6 マルモラーダ (Punta Penia) [3,342m] 登頂 完